

第58回徳島県高校総合体育大会（県教委、県高体連主催、徳島新聞社など後援）が1日、開幕した。4日までの4日間、既に終了した体操と新体操を除く30競技で熱戦が展開される。初日は11競技と協賛競技の硬式、軟式野球があり、卓球男子は城南が3年連続7度目、女子は徳島市立が2年連続13度目の栄冠を手

第58回

第1回

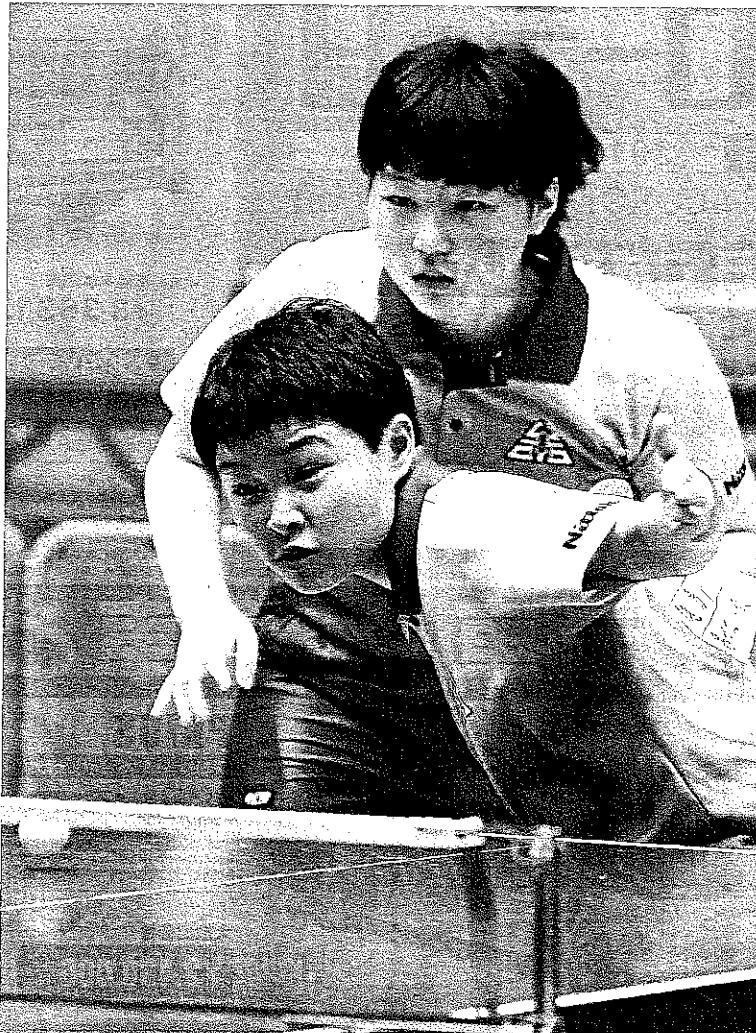
にした。ソフトテニス男子はつるぎが3年連続4度目の優勝。女子は脇町が12年連続で制し、優勝回数を17に伸ばした。バドミントン女子は城東が15年連続27度目、男子は徳島商が6年連続19度目の制覇。ライフル射撃ビーム男子は小松島西勝浦が5年ぶり3度目の頂点に立った。第2日の2日は25競技が行われる。

徳島市立13度目女王

寺本が繰り出したファインアーバンドの強打が相手の返球ミスを誘い、2時間を超える激闘に終止符を打った。決勝でライバルを下し、2連覇を果たした女子の徳島市立。うれ

しみ会、心靈學 市立 德島

なり、勝負の行方は第3回記事を張り付けて練習をシングルスの寺本に委ね重ね、最後の大舞台で行われた。重圧がかかる状況にも寺本は「緊張はしない」と充満した表情で振り返った。決勝の相手の徳島商は2月の県新人大会と4月の県選手権で惜敗。悔しさを忘れないよう、学年次を見据えていた。(石津達)



女子決勝・徳島商対徳島市立 ダブルス戦を制した徳島市立の寺本（手前）・秦組一とくぎんトモニアリーナ（山田旬撮影）

男子は城南3連覇

寺板寺秦東本本330
森平戎戎113
影田野野